

令和元年度 長井市立図書館の主な事業の実施状況

2月現在

1 利用者に役立ち、ぬくもりと満足を感じる図書館

- ◇ 図書館の多機能化に向けた事業の改善・充実・開発を推進する。
- ◇ 利用者のニーズに応え、利用者の役に立つ図書館をめざす。
- ◇ サービスの向上に心がけ、ぬくもりと満足を感じてもらえるよう努力する。

※印：新規事業

1 カウンター業務

(1) 貸出・返却

【実績】本館の貸出冊数及び貸出人数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度（1月まで）
一日平均貸出冊数の月平均	253冊	259冊	242冊
一日平均貸出人数の月平均	62人	63人	59人

昨年度よりも貸出冊数、貸出人数ともに減少している。特に、6月から入館者数も含めて減少傾向が顕著になったことから、旧長井小学校第一校舎と新白鷹町立図書館のオープン、さらには本館の冷房の故障が少なからず影響したものと考えられる。入館者数の減少傾向は12月以降持ち直している。

(2) レファレンス

【実績】件数：8件／長井市の歴史や行事、日常生活の課題に関すること

2 館内奉仕に関する業務

(1) ※特別企画「カリブ！タンザニア」（6／29～7／31）（総合政策課の協力）

【実績】タンザニアの紹介：関連本の展示・貸出71冊など／長井市の紹介：関連本の展示・貸出、「ここがいいね！長井」：参加者120人／長井市とタンザニアの交流の紹介：長井マラソンでの交流の写真とゲストの等身大パネルの展示／「バハティさんと遊ぼう！」：参加者14人／ワークショップ「アフリカの動物を折り紙で作ろう！」：参加者10人

長井市がタンザニアのホストタウンであることから、タンザニアについて関連書籍やパネル、写真等の展示を通して紹介するとともに、「ここがいいね！長井」をテーマに、長井の好きなところを書きボードに貼って紹介してもらった。また、スポーツ国際交流員のバハティさんを招き、「バハティさんと遊ぼう！」（7／6）を開催した。期間中の毎週水曜日には、アフリカの動物を折り紙でつくるワークショップも行った。ホストタウン事業の盛り上げに貢献できた。

(2) 読書推進イベント

① お誕生日おめでとう（通年）

【実績】参加者：26人

誕生月の方の写真を撮ってプレゼントするとともに、生まれた年に出版された本を紹介する。6歳までの子どもにはバースデーカードをプレゼントする。

② スタンプラリー（9／1～10／6）

【実績】スタンプラリー・抽選会参加者：219人（図書館まつり）

③ 手帳・カレンダーを当てよう！（12／1～8）

【実績】応募数：34、当選者：13人

(3) 図書館まつり（10／6）

【実績】ブックフェア：図書館から489点及び市民のべ39人から1839冊の資料を提供した／おはなし会の参加者：子ども11人、大人4人／映写会参加者：23人／「しおりを作ろう」参加者：78人／いなほ号での貸出・西根小学校写真展／リユースコーナーの利用：12家族／スタンプラリー・抽選会／売店

市内外各所で多様なイベントが行われる中、「図書館らしさ」を楽しんでいただける内容を工夫し、例年に劣らないにぎわいをつくることのできた。

(4) みんなでシネマ

【実績】毎月1回開催／来場者計66人

(5) オープンカフェ・いなほ号カフェ(4/27～5/17)

【実績】オープンカフェ：のべ239人(麦茶153、コーヒー86)／「いなほ号カフェ」：6日でのべ約90人の利用、貸出約30冊、おりがみ体験の参加者3人、運転席乗車撮影参加者3人
白つつじの咲く時期に合わせて、図書館の入口と外及びいなほ号で、麦茶とコーヒー、菓子、長井市の観光パンフレットを提供した。オープンカフェ期間のイベントとして、「おりがみであそぼう」を開催し、キャラクターおりがみや紙ヒコーキ、ぱんぱんでつぼうを楽しんでもらった。昨年の倍以上の利用があった。いなほ号カフェの利用者の3割は観光客で、珍しさもあって好評であった。

(6) ※キノコ狩り！キノコのしおりプレゼント(11/15～24)

【実績】用意した145枚の葉を全部提供することができた。

本を5冊以上借りた人に好きなキノコの葉を選んでもらいプレゼントした。併せて、好きなキノコを紙に書いて投票するイベントと、キノコの写真を見て何のキノコか当てるクイズを行った。

(7) すごく読書(1/4～21)

【実績】参加者数：143人

小学生から一般まで本を5冊以上借りた人が参加できる。上がった17人には景品を差し上げた。

(8) 本の福袋(1/4～13)

【実績】利用数：45袋中44袋提供

テーマ毎に職員が選んだ本3冊が入った福袋を、子ども向け20袋、中高生向け10袋、大人向け15袋の計45袋を用意した。中高生の利用が少なかったが小学生と大人の利用者には好評であった。

3 館外奉仕に関する業務

(1) 街なか図書館

長井駅文庫は、市庁舎建築に伴い5月23日に撤収した。

4 広報・広聴に関する業務

(1) 企画展示コーナー

① リレー企画(通年)

【実績】通年その都度：芥川賞・直木賞／4月期：春の絵本／4月から通年：本屋大賞2019／4・5月期：天皇と元号、1年生になったら、たまごの絵本、春を楽しもう！／5月期：おかあさんの絵本／5・6月期：おとうさんの絵本／6月期：梅仕事始めましょう。／6・7月期：たなばたの絵本／7～9月期：夏に読みたい絵本／8～9月期：おばけ・ゆうれい・妖怪の絵本／9月期：秋の絵本、どうぶつの絵本／10月期：ハロウィンのえほん、山形県図書館大賞／11～1月期：ダーク・ファンタジー／11・12月期：冬の絵本／12月期：クリスマスの絵本、今年のお出版／12～1月期：お正月の絵本／1月期：福袋に入れたかった本、麒麟がくる

② 行政(市民課)との共催企画(2/27～3/10)

【実績】市民課：『ポイ捨て防止』『地球温暖化防止』の啓発ポスターコンクール小中学生の入選作品の展示 × 図書館：テーマに関する図書の展示・貸出

(2) 特設コーナー(常設)

【実績】角野栄子、新刊書、リクエスト購入本の紹介、郷土資料、文庫、大活字、時代小説、ヤングアダルト、高齢者、子育て、英語、進路・職業、からだところ、あみものとおさいほう、パソコン・インターネット、低・中・高別小学生におすすめの本、のりもの、きょうりゅう、読み聞かせ支援

(3) 図書館情報の発信

【実績】図書館だよりを毎月発行／ホームページにイベントや新刊等の情報を随時発信／フェイスブックやおらんだラジオを通して最新の情報を発信／市報や「お茶の間通信」への情報の掲載／ポスター・チラシ・掲示板での情報発信等

2 子どもの読書活動を推進する図書館

◇ 長井市子ども読書活動推進計画の取組と読書環境の充実を図る。

1 移動図書館「いなほ号」の運行业務

(1) 貸出・返却

【実績】いなほ号の貸出冊数及び貸出人数（4～1月）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一日平均貸出冊数の月平均	170冊	174冊	159冊
一日平均貸出人数の月平均	90人	89人	79人

一昨年度までの減少傾向に昨年度歯止めが掛かったが、今年度再び減少に転じた。データを分析して実態を把握し対策を講じたい。

(2) ※読書推進イベント「いなほ号で、図書館で、本を借りよう！」（6～12月）

【実績】10冊達成者：6月期13人、9月期24人

月毎にいなほ号と本館と合わせて10冊以上借りた子どもに賞状を渡した。

2 館内奉仕に関する業務

(1) 読書推進イベント

① おいしい本をたくさん読もう！2019本の花咲くキャンペーン（4/23～5/12）

【実績】本を5冊以上借りた子ども110人に「花のたね」をプレゼントした。

② おはなし読みます！の日（4/23）

【実績】0人

(2) 第54回長井市読書感想文コンクール

【実績】応募数：小94、中14、高4、一般1、計113／入賞：〈自由部門〉特選5（小3、中1、一般1）、入選11（小9、中1、高1）〈角野栄子部門〉角野栄子賞1（小1）、入選1（小1）／表彰式（2/8）／入選作品を掲載した読書感想文集の発行（2月）

(3) おたのしみ会（1/18）

【実績】参加者：14組（子ども19人、大人18人、計37人）／内容：オリジナル人形劇、パネルシアター、マジックシアター、「おどろろ！パプリカダンス」、ジャンケン遊び、おりがみ、大型絵本、手品

参加型のプログラムを組み入れたことで、子どもたちが飽きずに最後まで楽しむことができ、アンケート結果も好評であった。

(4) おはなしと工作（8/6）

【実績】おはなし会の参加者：子ども10人、大人6人／ロケット作りの参加者：子ども15人、大人7人

(5) 夏の映画まつり（16ミリ映写機による映写会）

【実績】参加者：23人（上映した作品：「ライオンとネズミ」「どんぐりと山猫」「鉢かづき姫」）

(6) 一日図書館員（7/30・31、8/2）

【実績】参加者：4年生8人、6年生4人、計12人／内容：おすすめの本作成、カバーかけ、カウンター体験

(7) 職場体験（9/10～12）

【実績】体験した生徒：長井南中3年男子2名

(8) ハロウィンパフォーマンス（10/31）

【実績】親子1組（4人）

「ジャック・オー・ランタン」のペープサートを上演しハロウィンの由来を知ってもらった。平日だったので参加者が少なかった。

(9) 校外学習の受け入れ

【実績】校外学習：平野小3年34人、西根小2年22人、豊田小2年27人、伊佐沢小2年9人

3 館外奉仕に関する業務

(1) 学校支援・授業支援

【実績】豊田小・平野小・長井北中：廃棄図書の選定、長井小：ブックトーク（2・4・6年）、平野小4年：ブックトーク（テーマ「クリスマス」）、平野小5年：ポップ教室
長井小学校の学校開放日「読書・お話に親しむ日」に、2年「へんしん」、4年「どろぼう」、6年「冒険」をテーマに、全職員が分担をしてブックトークを行った。小学生の図書館の利用が減少傾向にあることから、本への興味・関心が高まることを期待して全力で取り組んだ。

(2) 団体貸出

【実績】貸出冊数：1236冊

(3) ※学級文庫定期便

【実績】貸出冊数：長井小600冊、平野小600冊、伊佐沢小200冊

2～3か月周期に1学年50冊程度学年毎に選書し、希望した学校に届けた。

(4) ブックスタート（健康課との連携事業）

【実績】毎月の3ヶ月検診時実施 参加者総数 125人

(5) おすすめ絵本リストの配布

【実績】リストを市内全部の幼保施設と小学校に配布

置賜地区公共図書館（室）連絡協議会の事業として8年目になる。「定番よみもの」からセクションしてリストを作成した。本館での活用はもちろん、各施設や学校において絵本選びなどに活用していただいている。

4 広報・広聴に関する業務

(1) 長井市子どもの読書活動推進連絡会（6／14）

【実績】出席者：市内小中高担当者10名、市教委、図書館

全部の学校から出席いただき、児童・生徒及び学校を対象とした図書館のサービスについて説明し、「学校が市立図書館に求める支援や連携」をテーマに懇談を行った。

(2) すくすく子育て応援ラジオ（子育て推進課との連携事業）

【実績】4月から12月まで10回49冊の絵本を紹介

3 図書館職員の資質の向上に努める図書館

◇ 図書館職員としての資質の向上に努め、資料等の利用拡大を図る。

【実績】山形県図書館職員専門研修会①（3名）②（3名）③（2名）、県内公共図書館実務者会議（1名）、読書推進ネットワーク研修会（2名）、山形県図書館研究大会（3名）、置賜地区公共図書館協議会研修会（4名）、全国図書館研究大会（1名）、北日本図書館研究大会（1名）、図書館見学（映画「ニューヨーク公共図書館」鑑賞6名、高畠5名、気仙沼1名）計のべ32名
研修を通して、視野を広げ、実務のスキルをアップして、本館の課題の解決や業務の工夫・改善につなげている。

4 公立図書館の望ましい基準をめざし、運営の質的向上に努める図書館

◇ 行政機関や諸団体と連携し、質の高い図書館経営に努める。

◇ 新図書館を併設する公共複合施設整備に積極的に関与する。

【実績1】市史歴史講座（6／15）において、館長が「長井市立図書館の発祥と変遷」と題して研究成果を発表し、本館の歴史を踏まえて令和の時代の図書館像を考える機会を提供した。

【実績2】置賜地区公共図書館協議会（2／14）において、館長が「にぎわいを生む複合施設図書館」と題して、地域の活性化の拠点となる図書館づくりの要件について発表した。これを基に本市の新図書館づくりへの提言を行っていきたい。

令和2年度 長井市立図書館事業計画(案)

1 本館を取り巻く状況

(1) 図書館界の状況

平成26（2014）年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」を受けた「まち」づくりが全国的に進行する中で、現在、図書館は大きく変わろうとしている。近年新しく整備された全国各地の図書館の7割以上が他施設との複合館である。その建物はデザイン性に優れ、多種多様な閲覧席が多数ありどこでも本が読める。おしゃれなカフェがあり飲み物もコミュニケーションも可とすると同時に、「静」の空間がしっかり確保されている。図書の貸出・返却・予約は自動化され、電子書籍やオンラインデータベース、インターネットなどのサービスも完備している。このような施設・設備の充実にとどまらず、地域社会の課題解決に向けて、複合施設間や行政・関係機関・住民などと連携・融合した様々な事業を展開するなど機能面での変化も著しい。

こうした複合化・多機能化した図書館は、利便性が高く、快適で居心地がよく、多くの住民の支持を得て「まち」のにぎわいや活性化に寄与し、地域における存在感を高めている。

(2) 市行政の動向

現在、長井市では、「しあわせに暮らせるまちづくり」の拠点と位置付ける、図書館と子育て応援施設から成る公共複合施設整備の計画が進行している。その計画では、両施設の機能融合を図り、幅広い世代間交流の場を創出するとともに、他の拠点施設などと連携して、中心市街地のにぎわいづくりに寄与する役割が求められている。

(3) 本館の動向

令和2年度は、指定管理第4期の第3年度、通算12年目となる。

平成28年度以降の「図書館の運営計画」の重点施策には、新図書館整備に関する協力が謳われており、これまでの図書館の豊富な運営実績と専門的な知識を以てプロジェクトに積極的に関与することが期待されている。

2 基本的な運営方針

新図書館整備の基本構想と基本計画の具現化を念頭に、図書館の複合化・多機能化に向けた事業の改善・充実・開発を推進し、新図書館の運営につなぐ。

(1) 利用者に役立ち、ぬくもりと満足を感じる図書館

- ◇ 図書館の複合化・多機能化に向けた事業の改善・充実・開発を推進する。
- ◇ 利用者のニーズに応え、利用者の役に立つ図書館をめざす。
- ◇ サービスの向上に心がけ、ぬくもりと満足を感じてもらえるよう努力する。

(2) 子どもの読書活動を推進する図書館

- ◇ 長井市子ども読書活動推進計画の取り組みと読書環境の充実を図る。

(3) 図書館職員の資質の向上に努める図書館

- ◇ 図書館職員としての資質の向上に努め、資料等の利用拡大を図る。

(4) 公立図書館の望ましい基準をめざし、運営の質的向上に努める図書館

- ◇ 行政機関や諸団体と連携し、質の高い図書館経営に努める。
- ◇ 新図書館を併設する公共複合施設整備に積極的に関与する。

3 事業計画

(1) 利用者に役立ち、ぬくもりと満足を感じる図書館

① カウンター業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
資料の貸出・返却及びレファレンス等の日常業務	通年	レファレンスに対する丁寧な対応と、迅速な貸出・返却業務等を実施し、利用者の要望に応え満足度を高める。	利用者全般

② 館内奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
読書推進イベント	通年 or 随時	継続イベントを改善したり見直したり、新たに企画したりして読書を推進する。	利用者全般
図書館まつり	10 / 4	市民のリサイクル本と保存期限の過ぎた資料を提供するブックフェアやおはなし会など、図書館ならではの催しを行い、図書館や本への親しみや関心を高める。	利用者、市民
みんなでシネマ	月1回平日午後	許諾されている映画リストから作品を選定し視聴覚室で放映する。	利用者、市民
オープンカフェ・いなほ号カフェ	4月末～5月	白つじまつりに合わせて、入口や外、いなほ号でくつろぎながら本を読む場を提供するとともに、ミニイベントを開催する。	利用者、市民

③ 館外奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
街なか図書館	通年	小桜館に本棚を設置し、市民から寄贈・寄付された本等を並べて閲覧・貸出を行う。長井駅文庫は新市庁舎建設に伴い閉館した。	利用者、市民

④ 広報・広聴に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
企画展示コーナー	通年リレー	時々のトピックや図書館からアピールしたいテーマで特集を組むとともに、行政や市民団体等との連携事業を企画する。	利用者、市民
特設コーナー	常設	利用者や市民のニーズが多いと思われるテーマ等について分類に依らない蔵書構成によりコーナーを設置し利用しやすくする。	利用者、市民
図書館情報の発信	随時	図書館だより、ホームページやSNS、ポスターやチラシ、市報やマスコミなど多様な手段により、図書館行事や新刊図書の紹介などの情報を利用者・市民に発信する。	利用者、市民

(2) 子どもの読書活動を推進する図書館

① 移動図書館の業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
移動図書館の運行	4～2月上旬	小学校や幼保施設、高齢者施設等を巡回し、交通手段がなく来館が困難な子どもたちや大人に本を貸し出す。	幼児・小学生、一般

② 館内奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
読書推進イベント	通年 or 随時	継続イベントを改善したり見直したり、新たに企画したりして読書を推進する。	幼児や小中学生・高校生
第55回長井市読書感想文コンクール	9月から募集開始	市内の小・中・高校生、一般を対象に感想文を募り、優秀な作品を表彰する。	小・中・高校生 一般
一日図書館員	7月下旬～8月上旬	小学生を対象に図書館の仕事を実際に体験してもらう。	小学校上学年児童
おたのしみ会	1/16	親子で楽しめるおはなしや紙芝居、人形劇などを上演する。	主に就学前の親子
おはなし会	毎月第4土曜日	幼児や児童の親子に絵本の読み聞かせ・紙芝居・手遊びなどを行う。	幼児、小学生
おはなしと工作	8月上旬	おはなし会と図書館の本を参考にした工作を楽しんでもらう。	幼児、小学生
校外学習の受け入れ	随時	主に授業や行事での学習や体験学習を受け入れる。	主に幼児や小・中学生・高校生

③ 館外奉仕に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
団体貸出	随時	幼保施設や学校等へ図書をまとめて貸し出す。	幼保施設、学校等
学校支援・授業支援	随時	市内の学校に職員を派遣し、ブックトークや図書に関する奉仕作業や図書館経営に関する助言などを行う。	市内小・中学校
ブックスタート	毎月1回の3か月健診受診時	親子に絵本を通してふれあいの大切さを知らせるとともに、子育ての手助けとなる絵本の案内や読み聞かせを行う。	乳幼児、保護者
おすすめ絵本リストの配布	年1回	幼児から小学生までに薦めたい本を選定し幼保施設や学校に配布する。	幼保施設、小学校

④ 広報・広聴に関する業務

事業名	実施時期	内 容	対 象
長井市子どもの読書活動推進連絡会	6月上旬	子どもの読書活動推進の取り組みについて学校と図書館が相互に理解を深め、連携を強化して子どもの読書環境を充実する。	市内各学校担当者

(3) 図書館職員の資質の向上に努める図書館

研修・会議	実施時期	内 容	実施主体
北日本図書館研究集会	未定	全国の公共図書館の活動に関する研究を交流・協議し研修する。	北日本図書館連盟
山形県図書館職員専門研修	未定	図書館職員の資質・能力の向上を図る。	山形県図書館協会
山形県図書館研究大会	未定	県内の図書館関係者が一堂に会し、図書館の活動に関する研修や情報交換を行う。	山形県図書館協会
山形県図書館協会役員会・総会	未定	県内の公共図書館長等が県図書館協会の予算や事業計画、活動について協議するとともに、情報交換を行う。	山形県図書館協会
置賜地区図書館館長・担当者会	未定	置賜地区公共図書館の館長及び実務担当職員が情報交換を行う。	置賜地区公共図書館連絡協議会
置賜地区読書推進研修会	未定	地域の読書推進及びネットワーク整備に向けて研修する。	置賜教育事務所

(4) 公立図書館の望ましい基準をめざし、運営の質的向上に努める図書館

① 子どもの読書活動の推進

図書館と学校が連携して、読書活動や授業に必要な本や資料を効果的効率的に提供するための仕組みづくりが必要である。アウトリーチサービスでは、ブックトークや読み聞かせなどを通して、「本の魅力」をしっかりと伝えられる体制づくりや職員研修が不可欠である。また、「音読・読み聞かせファミリー寺子屋プロジェクト」の浸透・定着を支援する取り組みも重要である。

② 移動図書館サービスのあり方

少子高齢化が進行する状況下、高齢者や、病院や施設に入院・入所している人たちなどのニーズをくみ取り、子ども中心の従来のサービスのあり方を見直す。

③ 郷土資料・地域資料の活用

郷土資料・地域資料の開架率を高め、普段に活用できるようにする。また、重要資料のデジタル化や図書館と文教の杜の資料を一括管理できるシステムの構築をめざす。

④ 図書館のバリアフリー化とアクセシビリティの向上

全ての利用者（特に障がい者や高齢者など）に対するバリアフリーへの配慮やアクセシビリティ（利用しやすさ）の向上に努める。

⑤ 地域課題解決のためのサービス

「地域づくり計画」に基づいて、地域住民が地域の課題を自主的自治的に解決しようとする取り組みを支援する。

⑥ 潜在的利用者の開拓

図書館を利用している人は市民の2割程度であり、新図書館整備を機に潜在的利用者（未利用者で利用者になり得る人々）の開拓に力を尽くさなければならない。

⑦ 図書館ボランティア・サポーターの組織化

複合化・多機能化した図書館を円滑に運営し、まちづくりに寄与する役割を果たすためには、市民が主体的に図書館の整備と運営に参画することが重要であり、市民ボランティアやサポーターの組織化を早急に進める必要がある。

令和2年度 図書館運営計画

1. 基本方針

人間は情報・知識を得ることによって成長し、また、文化的なうるおいのある生活を営む権利を有する。市立図書館は市民が望むこれらの欲求に応えるため、そして、長井市教育振興計画で教育目標に掲げている『いのちを育み「長井の心」を未来につなぐまち』を推進していくために、指定管理者と情報を共有しながら、よりよい市立図書館を目指し努力していく。

乳幼児・児童・青少年の人間形成において、豊かな読書経験を積む重要性はいうまでもない。また、市民皆に生涯にわたり図書館を利用し続けてもらうため、継続的に図書サービスの充実を図る必要がある。

また、高齢者の人口比とその社会的役割が増大していることもあり、高齢者のサービスについて要望をつかみ、必要に応じた資料提供と施設の充実を推進していく。

公立図書館として、「公立図書館の設置及び望ましい基準」に示されたものを一つ一つ達成できるよう、具体的目標を掲げ、その上で地域性を鑑みながら市民の「生涯学習をとおして人も地域も元気なまち」を実現していく。

2. 今年度の主な目標と施策

(1) 指定管理者と連携した図書館運営の充実

指定管理者による運営が第4期3年目を迎える。これまでの課題等を踏まえながら、教育振興計画を中心に据え、これからも指定管理者と教育委員会の連携を密に、図書館運営の充実に努めていく。

また、指定管理者制度のメリットを最大限に活かしながら利用者のサービス向上と低コスト運営に努めていく。

(2) 図書選定の公平性の確保

図書購入は、指定管理者が図書を選定し、教育委員会文化生涯学習課及び図書館協議会で決定することとし、公平かつ迅速な処理を適正に行う。

利用者のリクエスト、地域性・郷土色に配慮した選定を行うことで、利用者の満足度向上及び地域に根差した選書に努めていく。

(3) 図書館利用におけるサービスの充実

資料の収集及び提供・レファレンス等日常のサービスから、市立図書館ならではの特色のあるサービスまで、市民全員が利用しやすく、魅力ある図書館運営を実現していく。

また、情報・知識を得る活動が多様化・高度化する中、生活圏の拡大、情報化、国際化、高齢化等、社会が急速に変化している。中でも、新しい情報通信技術の開発・普及は目覚ましい。そのような情報や新技術を活用したサービスに的確に対応していくことが求められている。

- ① 山形県公立図書館横断検索システムと連携した蔵書検索システム及びインターネットによる予約システムの活用により、利用者の利便性を確保し、更により良い貸出し環境となるよう努めていく。
- ② レファレンスサービスの重要性が高まる中、職員の高度な調査・相談受付能力も必要になってきている。このため、研修会等への積極的な参加や、外部機関及び先進地の図書館等との連携・情報収集を密にし、多様な利用者の声に応えられるよう努めていく。

③ 幼児期からの読書活動の意義や重要性について啓発し、児童、保護者、学校、地域のボランティア団体等と連携、協力をしながらブックスタート事業、おはなし会やおたのしみ会等の事業を更に充実させ様々な角度から読書活動の推進を図っていく。

④ 本を借りる意欲を刺激し、読むことに親しむ気風を根付かせる目的として、月毎または季節毎に利用者を惹きつける企画を立案して利用者に提供していく。

⑤ カウンター業務や書架の整理等において図書館ボランティアを募集し、図書に親しみながら図書館業務を知ってもらう取り組みを行っていく。

(4) 移動図書館車の活用による読書活動の推進

冬期間の運用(一部期間を除く)が可能となってから利用者・貸出冊数も好調を保っている。特に、利用者が多い春から秋にかけては、移動図書館の蔵書を充実させるなど、更なる利用者増を目指している。今後も、幼児期の読書活動の大切さを呼びかけながら、保育園・幼稚園・児童センター、そして各小学校との連携を図ると共に、老人福祉施設や児童発達支援センターの利用についても推進しながら、移動図書館の利用者増を目指していく。

(5) 図書館協議会の運営の充実

図書館協議会は、図書館法第14条及び長井市立図書館条例第5条に基づいて設置されている機関で、図書館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。図書館運営における図書館協議会の役割はますます重要になっており、協議会に対して図書館に関する情報の提供等を行うことで、市民の意見をより強く反映できるような会の運営に努めていく。

(6) 街なか図書館への支援

現在、小桜館に本棚を設置し、市民から提供いただいた本と図書館の再利用本を並べ、“街なか図書館”としてご利用いただいている。不定期ではあるが図書の入れ替え等も行いう等、利便性の確保に努めている。今後もより市民に身近な図書館として活用されるよう運用を考えていく。また、新たな設置個所の要望があれば対応していく。

(7) 安心安全な施設管理

図書館施設については、指定管理者と教育委員会が協議しながら毎年修繕工事を実施し、安全性を確保している。建設から約40年が建ち、老朽化も進んでいるため、適切な修繕を継続的に進めていく必要がある。令和2年度は、冷暖房設備に係る冷却水ポンプの交換及び配管詰まりの洗浄作業を行う。不具合箇所も年々増えているため、日常点検をこれまで以上に綿密に行い、問題が生じた際は利用者の安心安全の確保を図りつつ、迅速な対応に努めていく。

(8) 新図書館を併設する長井市公共複合施設の整備について

都市再生整備計画事業として令和5年度の完成を目指し、多機能型図書館と子育て世代活動支援センターが一体化した公共複合施設の建設に向けて、庁内関係機関と連携し準備を進めている。新図書館では、市民が読書に親しむ拠点として、図書の貸し出し、資料収集・保存という基本的機能に加え、利用者が求める本の情報提供や多様な学習機会の提供、機能の充実、一人でもくつろげる居場所となるような読書環境の整備を図り、より豊かな生活の実現を目指していく。

令和2年度 図書館予算調書(歳出)

10款 教育費 4項 社会教育費

(千四)

目	本年度 予算額	前年度当 初予算額	比 較	特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
4図書館費	39,167	38,722	445				39,167

節		説	明
区 分	金 額		
1 報 酬 特別職非常勤職員報酬	72 (72)	■図書館運営の状況 【※R1年度終了時点で修正します】	
		・蔵書数 109,077冊 (H31.3末/雑誌、視聴覚を含む)	
		・開館日数 305日 (H30実績)	
		・貸出冊数(本館+いなほ号合計) 103,002冊 (H30実績) うち、いなほ号24,847冊	
		・移動図書館車運行 平成30年4月～平成31年1月実績 貸出人数12,625人 (市内小学校、保育園、児童センター、幼稚園、老人福祉施設 計20施設)	
10 需用費 消耗品費 修繕料 図書購入費	4,197 (80) (312) (3,805)		
11 役務費 手数料	99 (99)		
12 委託料 業務委託料 指定管理料	33,445 (1,136) (32,309)		
13 使用料及び賃借料 事務機器等借上料 機械借上料	923 (875) (48)		
14 工事請負費 工事請負費	431 (431)		
		001図書館運営事業(38,424千円)	
		【予算内訳】	
		* 1節 報酬(72千円)	
		特別職非常勤職員報酬(72千円) 図書館協議会委員報酬 委嘱人数 10人(予算は5,100円×7人×2回) 委員長 令和元年度改選(R1～R2 田中美壽氏)	
		*10節 需用費(3,885千円)	
		消耗品費(80千円) 情報システム消耗品等 図書購入費(3,805千円) 図書(一般書、児童書)のほか 新聞・雑誌の購入費	
		*11節 役務費(99千円)	
		手数料(99千円) 煙突内アスベスト飛散度調査手数料	
		*12節 委託料(33,445千円)	
		業務委託料(1,136千円) 図書館情報システムアウトソーシング委託料 指定管理料(32,309千円) 図書館指定管理料 指定管理期間(H30～R2年) 施設管理、事業企画・運営、蔵書管理、カウンター、移動図書館、広報公聴、館外奉仕、レファレンス業務等(司書資格者4名、非常勤館長1名含む7名体制)	
		*13節 使用料及び賃借料(923千円)	
		事務機器等借上げ料(875千円) 図書館情報システム機器借上料 機械借上料(48千円) AEDリース料(48千円)	
		002図書館施設管理事業(743千円)	
		【予算内訳】	
		*10節 需用費(312千円)	
		修繕料(312千円) 視聴覚教材映写機修繕料(22,000) 冷却水ポンプ漏れ修繕料(189,530) 消防用設備修繕料(100,100)	

節		説 明
区 分	金 額	
		*14節 工事請負費(431千円)
		工事請負費 (431千円) 水冷チラー凝縮器薬品洗浄工事